

科目名	ICT基礎実習			ナンバリング	ICT141	授業形態	実習
対象学年	2年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	1単位
代表教員	高橋義考	担当教員	中尾 剛, 高橋 義考				

授業の概要	情報通信システムの基礎を理解するため、実習形式でICT関連のソフトウェア利用方法、機器の操作方法を習得することを目的とする。実習ではプログラミング、webページ作成、通信機器操作、マイコン制御を行う。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジュアルプログラミングについて説明することができる 2. webサイトの作成とサーバーへのアップロード方法を説明できる 3. 電波の種類、特徴、操作方法を説明することができる 4. マイコンによるモータ制御方法を説明することができる 						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	ICT基礎を受講していることが望ましい。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアルプログラムを使ってゲームを開発することができる。 ・オリジナルwebページを作成することができる。 ・コンピュータネットワークの構築をすることができる。 ・マイコン用プログラミングとプログラムの実行をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアルプログラムの機能を説明ことができ、オリジナルのゲームを開発することができる。 ・webページ作成から公開までの方法を説明ことができ、オリジナルwebページを公開することができる。 ・コンピュータネットワークの構築方法について説明ことができ、無線などの通信機器の設定をすることができる。 ・マイコン用プログラミングと実行方法について説明ことができ、マイコンでモータ制御を行うことができる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○	○	○		100%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○			加点はしない。欠席は減点対象となる。

課題、評価のフィードバック	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実験や演習に関する疑問や感想などについては、次回の授業でコメントする。 2. 提出されたレポートについては、評価基準を示した上で、返却する。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	オリエンテーション	ICTに関連するソフトウェア、ハードウェアの種類と役割について解説する。また、実習の進め方について説明する。	
	第2回	ビジュアルプログラミング1	ビジュアルプログラムの使い方、注意点について解説する。	
	第3回	ビジュアルプログラミング2	ビジュアルプログラムの変数の扱い方について解説し、課題のプログラミングを行う。	
	第4回	ビジュアルプログラミング3	ビジュアルプログラムを用いた繰り返し処理について解説し、課題プログラミングを行う。	
	第5回	ビジュアルプログラミング4	ビジュアルプログラムを用いた条件分岐処理について解説し、課題のプログラミングを行う。	
	第6回	ビジュアルプログラミング5	ビジュアルプログラムによるオリジナルゲーム作成課題を行う。	
	第7回	webページの作成1	webページの作成方法について解説する。	
	第8回	webページの作成2	webページの公開方法と注意点について解説する。	
	第9回	webページの作成3	ソフトウェアを用いてオリジナルのwebページを作成する。	
	第10回	webページの作成4	ソフトウェアを用いてオリジナルのwebページを作成し公開する。	
	第11回	コンピュータネットワーク実習	ネットワーク構築方法について解説し、実習を行う。	
	第12回	無線通信と電波の利用	無線通信と電波利用方法について解説し、実習を行う。	
	第13回	情報処理1	Basic言語によるプログラム作成方法について解説し、実習を行う。	
	第14回	情報処理2	プログラムの実行と修正方法について解説し、実習を行う。	
	第15回	まとめ	授業の振り返りレポート作成を行う。	
		試験	試験は実施しない。	
授業の進め方		授業は人数に応じてグループに分かれて実施する。		
授業外学習の指示		授業で学んだ内容を整理し、まとめておくこと。 出題された課題は、授業外学習として独自に再度行い、コンピュータの各技術を身に着けること。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	配付資料に従って、実習を進めてゆく。
参考書	適宜、授業内で紹介する。
参考URLなど	
その他	

ルーブリック「ICT基礎実習」

評価規準 項目／観点		レベル高 ← 評価基準 → レベル低		
		レベル3（模範的、理想的）	レベル2（標準、合格）	レベル1（要改善、不合格）
1	ビジュアルプログラミング	提出された課題が条件（テーマ、情報量など）を満たしており、ビジュアルプログラムの各機能を適切に利用したプログラムを完成できる。	提出された課題が条件（テーマ、情報量など）を満たしている。	課題の提出がない、もしくは課題の条件（テーマ、情報量など）を満たしていない。
2	webページ作成	提出された課題が条件（テーマ、情報量など）を満たしており、公開されたwebページの設定が適切に機能している。	提出された課題が条件（テーマ、情報量など）を満たしている。Webページの作成と公開ができる。	課題の提出がない、もしくは課題の条件（テーマ、情報量など）を満たしていない。
3	ネットワーク	ネットワークの仕組みについて説明することができる。ネットワーク社会における問題点について説明することができる。	ネットワークの仕組みについて説明することができる。	ネットワーク構築方法について説明することができない。
4	情報処理	言語プログラム開発と実行方法について説明することができる。データ整理のためのプログラムを作成することができる。	言語プログラム開発と実行方法について説明することができる。	プログラム開発と実行方法について説明できない。
5				
6				
7				